

KODAIRA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION NEWS

URL <http://www.kifa-tokyo.jp/> E-mail info@kifa-tokyo.jp



No.64

CONTENTS

- P.1 : 国際交流フェスティバル
- P.2 : インタビュー、イタリア語入門
- P.3 : 国際こどもクラブ “マダガスカル”
世界の料理 “インドネシア”、台湾茶茶会
- P.4 : 新旧理事長ご挨拶



紙面をリニューアルしました。ご意見・ご感想をお寄せください！



こだいら国際交流フェスティバル 7月3日(日)

梅雨の中休みといったところで雨も降らずお客さんの入りも上々。『世界と遊ぼう』というキャッチコピーの下、インドネシアにスポットを当てこだいら国際交流フェスティバルが開催されました。

世界の料理屋台やフェアトレードの物品販売、コーヒー豆の販売ブースなどが盛況な中、二度に渡ってインドネシア舞踊が披露されました。日本の国土の5倍、1万7千を超える島々から成り立つこの国の舞踊は地域ごとに衣装・踊りの様式も異なるそうです。

スダ地方のガムラン演奏に続きジャワ舞踊、バリ舞踊・・・と計6つのプログラムを披露していただきましたが、それぞれの地域衣装を身にまとい踊る姿はどれも新鮮な驚きと

もに私達の目を楽しませてくれました。節電でちょっぴり冷房控えめの会場も優美な踊りで涼しい風が吹き抜けたようでした！上演後はビジットインドネシア日本地区事務所のご協力によるセミナーが開かれ、インドネシアの歴史や奥深い多民族国家の魅力などを教えていただきました。夏の旅行先としてインドネシアを候補にした参加者もいたのでは？

また、今回インタビューコーナーでもとりあげたジェーン先生のボランティア活動の報告会では、貴重な経験をお話いただきました。質疑応答では外国人からみた今回の震災報道をどう思うか？などの声が挙がり関心の高さがうかがわれました。

参加者のみなさんは、積極的にケータイでやりとりしながら自分の国の写真を見せ合ったりしていました。異国の文化や活動を知り、そして新しい友達の出会いの場としてもフェスティバルは一役買ったようですね。

～国際交流フェスティバル写真館～



ジェーン先生の公開インタビュー

6月23日(木)

オーストラリア、ニューカッスル出身で、英会話教室木曜午前Aクラスをご担当のジェーン・クラーク先生が6月上旬、宮城県石巻市へボランティアに行かれました。先生の活動に多くの方から関心が寄せられましたので、公開インタビューという形で教室の生徒さんにも参加いただき、お話を伺いました。



先生がお話しされた現地の様子、被災地の状況は大変厳しいもので、みなさんから驚きの声が上がりました。この時の内容は、国際交流フェスティバルの石巻ボランティア報告会の様子と合わせ、『国際こだいら No.64 震災特集別刷号』で詳しくご報告していますのでご覧ください。

残念ながら先生は7月中旬、母国オーストラリアへ帰国されました。先生に感謝しますとともに、母国でのご活躍をお祈りします。



イタリア語入門

5月13日～7月15日、9月9日～11月18日 毎週金曜日(9/23を除く)

6月17日(金)第6回目のクラスにおじゃましました。講師はナポリ出身のマリオ・ヴォット先生です。

今回のテーマは「カフェで注文」。まずプリントで前回の復習をしたら、今回は食べ物や飲み物の名前の学習です。先生は流ちょうな日本語で、単語の意味を説明してくれます。そして習った単語で、二人ずつ客と店員に分かれて会話を練習していきます。

先生は授業の中で、イタリアと日本の文化の違いなど様々なエピソードをお話してくれます。例えばバレンタイン。イタリアでは男性から女性にチョコレートとプレゼントを渡すそうで、先生は来日して生徒さん達から沢山チョコレートをもらい、「なんていい国なんだ!!」と思ったそうです。その話に一同爆笑でした。

この授業は生徒さんに考えさせながら進んでいくのが特徴で、生徒さんはわからない時はどんどん質問したり、生徒同士で教えあったり、終始和気あいあいの雰囲気でした。

生徒さんがイタリア語を始めたきっかけは、旅行や食事、音楽、映画を通して興味を持ったなど様々なようですが、どなたも積極的なのが印象的でした。

まもなく9月から後期レッスンが始まります。みなさん、後期もがんばってください!

なお、途中参加も歓迎だそうです。Tryしたい方、ご連絡ください。



国際子どもクラブ“マダガスカル”

6月18日(土)

みなさんは“マダガスカル”と聞いてどんなイメージが浮かびますか？

この日は、通称スーさんことラクトンジャマンガ・スアランディさんの講座にお邪魔しました。彼女は東京農工大で7年間学ばれて、7月からはローマへ移住され国連で活躍されるのだそうです。日本には高校の時の先生がよく日本の話をしてくれた事がきっかけで興味をもったと教えてくれました。

スーさんが「はあ〜い！えっとお！」と元気な声で手をパンッ！とたたいて、軽快にマダガスカル講座が始まりました。まずは、マダガスカル語でのご挨拶。

Salamaeh (サラメ)：こんにちは

Misaotra (ミサウチャ)：ありがとう

Veloma (ヴェルマ)：さようなら

「してみようぜい！」とスーさんに促されて、子どもたちは少しはづかしそうに声に出して挨拶をしました。

その次には、マダガスカルのいろいろなスライドとスーさんの解説がありました。それによると、マダガスカルは東アフリカに



マダガスカルの国章



世界の料理 “インドネシア”

3月9日(水)

ジャカルタ出身の春田リナさんにインドネシアの家庭料理をおしえていただきました。今回はお祝いの時に必ず食べるという黄色いごはん、ナシクニンとおかずを作りました。豚肉と小魚で作った2品のおかずが激辛で驚きました！！



台湾茶茶会

6月18日(土)

毎回このお茶会は人気ですが、今回は初参加の方が多かったようです。道具の説明やお茶の淹れ方を熱心に聞いてもらいました。



先生の「おいしいお茶に、癒されますね。」のお言葉に、みなさん頷いていました。

平成22年度収支決算(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

○収入の部

(単位：円)

科目	決算額
賛助会費収入	1,207,000
補助金収入(市補助金)	14,133,000
寄付金収入	410,000
積立金繰入	0
事業収入	6,532,286
雑収入(預金利息等)	58,954
前年度繰越金	1,254,663
収入合計	23,595,903

○支出の部

科目	決算額
事業費	9,272,680
国際理解及び国際親善の普及事業	5,169,305
地域における友好交流事業	792,529
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	341,718
国際交流情報の収集及び地域への情報提供事業	1,619,720
その他協会目的達成事業	1,349,408
管理費(管理運営費)	13,248,690
積立金	400,000
予備費	0
支出合計	22,921,370

退任にあたり

山之内 照雄



平成16年4月、初代米山理事長のあと就任、当時は米山理事長が基礎から築いてこられた当協会が安定してボランティアの方々の強力なご支援のもと、とても順調に運営することができました。一橋大学分校跡地に留学生会館が建設され学生さんも増えて、また市内の各大学の協力もあり事業も増え市民と外国人の皆さんとの交流も一層深くなって参りました。

国際関係も年々親密になり当会でも市民まつりのパレードに外国の皆さん方と参加してきました。

私もこの7年間充実した会の運営ができたと自負しています。これも多くの皆様のご協力の賜と心から感謝申し上げます。

後任の安部理事長も副理事長として永年協力していただき、その経験をもとに小平市国際交流協会は益々発展することが期待されます。どうぞ皆様より一層のご協力をお願いしまして退任の挨拶とします。永い間、誠にありがとうございました。

平成23年度ボランティア連絡会幹事紹介(役職、五十音順)

- ・代表幹事 中谷正明(情報提供コーナー)
 - ・副代表幹事 江連 紀子(世界の料理)
- 各グループの幹事は次のとおりです。
- ・機関紙発行 阿部真理
 - ・日本語会話教室(月) 池亜里子
 - ・交流サロン 近田晴彦
 - ・日本語会話教室(金) 田中契子
 - ・国際こどもクラブ 藤吉高啓
 - ・日本語会話教室(土) 高岡ルミ

編集後記

前回の編集からおよそ5ヶ月、皆様お変わりないでしょうか。3月11日、日本は未曾有の大震災に襲われました。被災された皆様へお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りします。

震災後、海外から日本へ多くの支援が寄せられました。ありがたいことです。私たちに出来ることは、この地域のみなさんと外国の方々との交流をお手伝いしていくこと。国際交流フェスティバルは多くの方に来場いただき大盛況でした。みなさんの笑顔がまぶしかったです。

さて今号より紙面を変更しました。見やすくなっているといいですが。また今号はジェーン先生のボランティア報告と外国のエコ活動の取材記事を、『国際こだいらNo.64 震災特集別刷号』にてお届けしています。ぜひそちらもご覧ください。

今年は猛暑に加え15%節電を求められ、無理をして熱中症になってしまう方がいるようです。どうかみなさまお気をつけて。(S)

就任にあたり

安部 泰人



この度、山之内照雄 前理事長の後を引き継ぎ、理事長に就任いたしました安部でございます。よろしくお願ひ致します。

国際交流協会は、昨年度で20周年の記念すべき年を迎え、また、その記念行事も無事に終えることができましたが、これも偏に地域の方々をはじめ、多くのボランティアのみなさんの長年にわたる

活動の積み重ねの結果であり、また、お力添えを頂きながら多くの足跡を残していただきましたことを大変喜びとするところであります。

今後においても、今までに倍してご協力を賜り活動を進めていきたいと考えています。協会は、このような組織を支える方々によって運営されていますので、すべての人々から喜ばれる協会にしていきたいと考えています。

その協会が目指している理想は、国際間の理解と親善と平和を推進することにあります。現実的には、地域の方々と外国の方々との交流を主な活動として、そこに関わる人々の出会いを重んじて幸せを感じ取ることができるようにしていきたいと思ひます。

したがって、この活動も、ボランティアの協力なくしては成り立たないのであります。また、そのためには有機的に活動を継続していくための組織づくりが重要であり、ボランティアの活動と事務局とが連携を保ちながら相互協力によって、企画された活動が円滑に進行されていくようにしなくてはならないと考えます。今後とも相互が協力していただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願い致します。

平成23年度協会役員・評議員の紹介(平成23年7月1日現在)(五十音順)

- | | | | | | |
|------|-----|--------------|------|------|------|
| 理事会 | 理事 | 安部泰人(理事長) | | | |
| | | 石田 哲 | 石橋正春 | 大塚倫治 | 奥村 秀 |
| | | 神津光昭 | 阪本伸一 | 鈴木 実 | 昼間守仁 |
| | | 藤橋恒夫 | 山田浩史 | | |
| | 監事 | 大谷秀二 | 鈴木忠司 | | |
| 評議員会 | 評議員 | 阿部 仁 | 荒武宗昭 | 江連紀子 | 狩集明子 |
| | | サイモン・クレイ | 坂本照子 | 佐野郁夫 | |
| | | 清水邦明 | 朱 海慶 | 高杉喜平 | 出口拓隆 |
| | | 豊田二夫 | 中谷正明 | 福川孝一 | 古家義伸 |
| | | ベル・デズモンド・トマス | | | 山口嘉史 |

発行日 平成23年8月1日
発行 小平市国際交流協会
編集 機関紙グループ

〒187-0045
小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター 3階
TEL. 042-342-4488 FAX. 042-347-3003